

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	作業療法概論Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学 期	後期	教室名	802
担 当 教 員	改發 友貴				

実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 作業療法士として、身体障害領域の病院で、急性期リハビリ、回復期リハビリ、外来リハビリを有する病院にて9年間勤務。 主に、脳血管疾患や上肢骨折後の日常生活動作訓練を実施。 大阪府がんのリハビリテーション研修会終了。 臨床実習指導者講習会終了。</p> <p>【資格】 福祉住環境コーディネーター2級。</p>
-----------------	---

《授業科目における学習内容》
見学実習で学んだ担当症例について、生活行為向上マネジメントシートにおけるアセスメントシート、プランシートを用いてまとめなおしをしてもらいます。振り返り、まとめなおす過程を通じて作業療法の流れを理解してもらいます。また、ICF(心身機能と身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子)における相互関係を理解し、作業療法の治療についてまとめてもらいます。

《成績評価の方法と基準》
実技試験(発表):80%
レポート :20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》
①作業療法学全書 第1巻 作業療法概論
②作業療法マニュアル66 生活行為向上マネジメント 改訂第3版
③ICF国際生活機能分類

《授業外における学習方法》
見学実習で経験した症例に関する、概要・症状・作業療法について調べる。
時間内かつ聞き手に伝わるような発表ができるよう練習する。

《履修に当たっての留意点》
実習での経験を同級生や教員に伝える事や改めて振り返ることで、実習中に気付かなかった事や深い理解が出来ます。
症例によって、多くの事が学べ深い理解が出来ます。積極的に調べて話をするようにして下さい。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	見学実習での担当事例について、MTDLPIにおけるアセスメントシートとプランシートを用いてまとめなおす事ができる。	教科書 見学実習資料	見学実習で経験した症例に関する。概要・症状・作業療法について調べる。
	各コマにおける授業予定	授業概要オリエンテーションを行い、授業の目的、到達目標を伝える 演習方法の決定:個人作成		
第2回	授業を通じての到達目標	見学実習での担当事例について、MTDLPIにおけるアセスメントシートとプランシートを用いてまとめなおす事ができる。	教科書 見学実習資料	見学実習で経験した症例に関する。概要・症状・作業療法について調べる。
	各コマにおける授業予定	教科書を観ながら、事例情報をアセスメントシート、プランシートに記載していく		
第3回	授業を通じての到達目標	ペーパー事例検討を通じて、アセスメント・治療のイメージができる。	教科書 見学実習資料	生活行為向上マネジメント(第3版) P.26~P.56
	各コマにおける授業予定	演習 事例情報をアセスメントシート・プランシートへの記載		
第4回	授業を通じての到達目標	ペーパー事例検討を通じて、アセスメント・治療のイメージができる。	教科書 見学実習資料	生活行為向上マネジメント(第3版) P.26~P.56
	各コマにおける授業予定	演習 事例情報をアセスメントシート・プランシートへの記載		
第5回	授業を通じての到達目標	見学実習の担当事例について、MTDLPIにおけるアセスメントシートとプランシートを用いてまとめなおす事ができる。	教科書 見学実習資料	生活行為向上マネジメント(第3版) P.26~P.56
	各コマにおける授業予定	演習 事例情報をアセスメントシート・プランシートへの記載		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	作業療法が行われた理由についてICFの項目を関係づけ説明できる。	教科書 見学実習資料	見学実習で経験した症例に関する。概要・症状・作業療法について調べる。
	各コマにおける授業予定	演習 発表レジュメの作成		
第7回	授業を通じての到達目標	作業療法が行われた理由についてICFの項目を関係づけ説明できる。	教科書 見学実習資料	見学実習で経験した症例に関する。概要・症状・作業療法について調べる。発表の練習
	各コマにおける授業予定	演習 発表レジュメの作成、完成 【レポート提出：20%：提出日は授業内で伝えます】 発表に向けてのオリエンテーション		
第8回	授業を通じての到達目標	発表において作業療法が行われた理由を聞き手に分かる（イメージできる）ように伝えることができる。	教科書 見学実習資料	時間内かつ聞き手に伝わるように伝える。
	各コマにおける授業予定	発表（実技試験：80%）		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			